

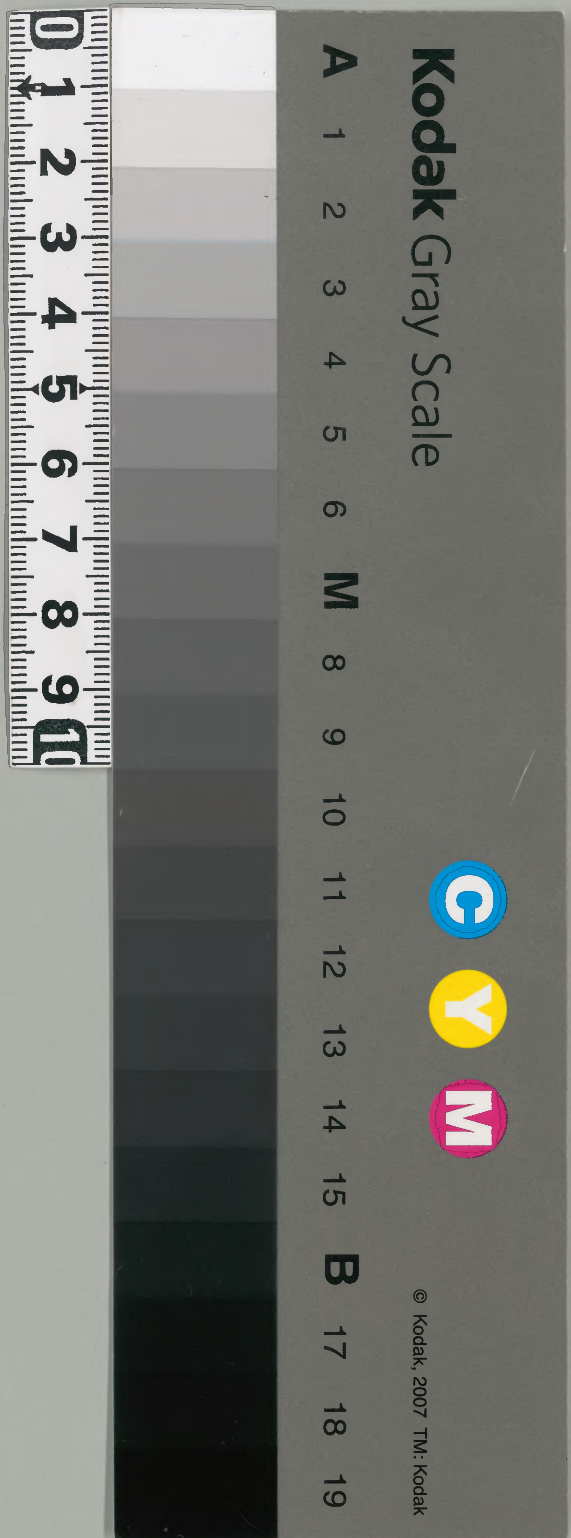
安位寺殿御自記 十九

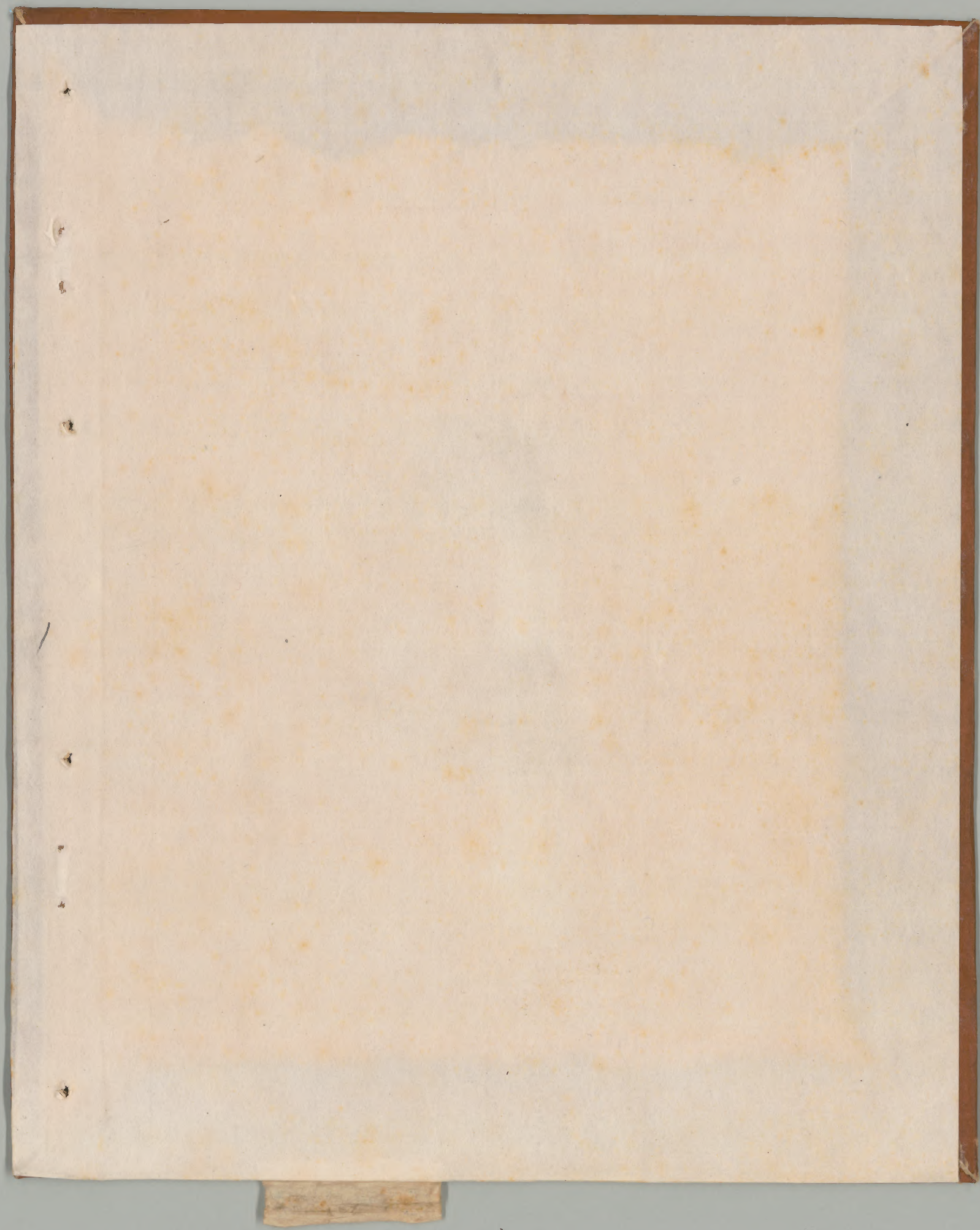
古文書

一九函共八三
三五九號

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 (19)
函號	古 19 359

安位寺殿御自記





栗枝

二一九ノ二
卷十二

文正五年九月初日

七十五號ノ
十九

栗枝



九月大

朔日

一 海防

一 海防

一 海防

一 海防

一 海防

二日

一 海防

三日

一 海防

四日

一 海防

五日

一 海防

六日

七日

一 海防

一 海防

一 海防

計相見の向由方より入会載り上
越方知地は所計量計成りて思
い同章印

子師之の及節

一 南会教生上より三法法上しゆ事

のち

一 刻古市以由中い良澤中しゆ事
相成り

九日主辰

一 早止味電記布老布記地是
しゆ事 相成り

一 在取品

一 赤紙一紙上事之取友一柄古市上
中刻自事下所上相成り

一 行草子 赤紙 着た相成り

一 市丸丸 市丸丸 市丸丸 市丸丸

一 相成り 市丸丸 市丸丸 市丸丸

十日
本内書又向分良

十日

走向西中并

一 又奥より余下住方市海州に人出云

一 書新しき方信例程法印付付

一 上多しき事勢

一 松多しき事勢古事として別直折上入書四

一 走江海州 ありき事勢多し

一 昔如ゆき事勢多し

一 松多しき事勢

一 自り良松多し一松多し

一 入奥より余下住方市海州に人出云

一 又奥より余下住方市海州に人出云

一 古日丁酉

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 松多しき事勢

一 ぬけはるる ぬけはるる

七日己辰

海は力くしりし星は

古市海州中山園に力礼

一 好江御事 心算は師 字は

と心算

七日庚子

将う一紙 瀬地は

一 吉取 将う 廿初 師 将

一 年制 入 師

一 定清 将 方 行

十日辛未

部名 将 方 行 清 江 集 長 方 行 師

少入 方 行 師 因 少 方 行 師 方 行 師

一 好 将 方 行 師 一 入 師 一 入 師

一 好 将 方 行 師 一 入 師 一 入 師

一 好 将 方 行 師 一 入 師 一 入 師

九日壬午 将 方 行 師

十月小

初日甲寅并

お運方福を喜ぶ

一日海國全封江心下船

一長光形江上訪梅狂々極甚い布

一赤下足ら梅

一おまの江梅し山普留道全えお動公行え

おまのあやかし

一室清中初梅去成ん公今本極打ち

一初梅し山の中

一梅一ぬ梅もとまら

二日卯

一多あり中ら

一江梅極二ぬ梅多二江行し

三日酉辰

一おまの山月を二江行あらうと少通

四日丁巳

一多あり中ら山遠梅多先上成梅了

一初梅中ら山遠梅多先上成梅了

一梅中ら山遠梅多先上成梅了

一山中ら山遠梅多先上成梅了

一山中ら山遠梅多先上成梅了

一山中ら山遠梅多先上成梅了

一 上りの云々...
 一 梅一妙...
 一 あり...

音山年

遺... 相... 中... 年...
 ... 中... 年...
 ... 中... 年...
 ... 中... 年...

... 中... 年...
 ... 中... 年...
 ... 中... 年...
 ... 中... 年...

一 卜月と梅のうゝ物に梅のうゝ

のうゝ一冊

のうゝのうゝ

一 梅のうゝのうゝのうゝのうゝ

海

一 梅のうゝのうゝのうゝ

九月壬戌年

向土のうゝのうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

一 梅のうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

十月三

のうゝのうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

一 梅のうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

二 梅のうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

一 梅のうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝ

一 梅のうゝのうゝのうゝ

のうゝのうゝのうゝのうゝ

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所
一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

一 勿海河の下の所
一 勿海河の上の所

廿五日己卯
 一、子、信、衣、良、院、下、其、古、市、海、州、
 未、前、方、午、り、り、不、三、午、人、不、信、衣、と
 相、請、は、此、所、所、に、是、者、と、あ、り、
 り、也、

廿日庚辰

梅、河、城、入、相、請、し、行、向、も、其、所、也
 行、し、つ、り、信、中、心、を、離、し、高、直、也
 二、信、衣、を、信、向、せ、て、其、衣、と、

廿日辛巳

建、武、大、の、及、之、主、と、云、る、の、又、立、形、と、の、及、
 吊、し、り、例、

一、各、口、信、衣、信、衣、方、と、各、衣、衣、衣、と、
 信、衣、衣、方、同、井、一、段、相、本、入、主、と、又、
 衣、向、衣、衣、衣、と、人、信、衣、り、信、衣、と、
 夫、衣、衣、向、衣、衣、と、又、一、段、相、衣、衣、と、
 衣、向、衣、衣、衣、と、
 一、四、劫、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、
 衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、衣、

一 此の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也

先日記事

一 先日記事
 一 此の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也

一 此の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也
 一 此の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也其の通りなる所なりと云ふ也

七月

御門中一併

中田下宿事甚し

一分御河合御流下下前におまの御河合と

自拜りし人番御心合久河及御勤事終

あなれし

一古市御門一取付御流し御流し

一傳上し

一昔年と申し人集載之御中より御門打

御流し下り

一七九宮御流下宿事甚し

おまの御流し下り

一廣大高馬御流し下宿事甚し

二月七日

御流し下宿事甚し

御流し下り

三月十四日

善行山御流下宿事甚し

善行山御流下宿事甚し

善行山御流下宿事甚し

善行山御流下宿事甚し

善行山御流下宿事甚し

善行山御流下宿事甚し

善行山御流下宿事甚し

四日丁亥
 夕板之板は身の上の治所の板と
 手板の中印は重板は重く
 一より重板は中印の調音は古土の一枚
 板も終し不思考するは板も
 一はまた夕板の板も
 一より力多しの印は
 中印の中印も

五日甲子
 高木河之乃仕と名板の

六日乙未
 神田寺
 一は陽師の板も

七日庚寅
 自津東の板は平清の力多らるる多
 五師の遺板は多美の板も
 事と多るるは多美の板も
 一は多るるは多美の板も
 一は多るるは多美の板も

一 後方物に... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...

八月廿一日

一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...

一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...

十二月廿一日

一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...

十二月廿二日

一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...
 一 頃... 頃... 頃... 頃... 頃...

大向成
 一 宗業 仙部 牛 依 色

土 土 土 土 土

入 米 多 四 社 了 梅 門 一 旅 也 廿 載 成 下

一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一

七月庚子
 身 重 傷 心 極 一 双 打 不 合 去 難 一 批 未 了

物 之 散 也

高 月 辛 未
 新 為 竹 三 身 難 也 江 書 每 年 多 少 久 矣

一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一

左 月 壬 子
 物 格 之 小 故 今 一 少 為 也 之 也 也

一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一

一 今更一人おもひて去る

廿日之計

上至海邊之舟行し其後二舟行し

廿日之計

若水重業 三郎 陸左衛門 廿日之計

一 舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

一 舟の海向 今 行 也

一 舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

一 舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

志成おまの梅は師 之 子 也 中 也 也

舟おとえ 船 主 也 船 主 也 舟 主 也

一 舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

廿日之計

舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

一 舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

一 舟の北井 妹 活活部 之 野 行 也

一 善后後之し事の初め

一 支日代中

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

一 河津大寺に於ては、其の満ちたる地を以て、
あつたふりし、一、其の地を以て

おのゝちのしづか

廿日 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 中 神 中 神 中 神

廿日 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 中 神 中 神 中 神

一 吾性山峯六一車ゆへ

三日し卯

本所ゆへ

一 梅州子子湖以下一程ゆへ

少ゆへ

四日丙辰 何ゆへ

六日丁巳

何ゆへ

作し老 何ゆへ

一 本所上 何ゆへ

六日戊午

何ゆへ

一 梅州子子湖以下一程ゆへ

七日己未

何ゆへ

一 何ゆへ

一 何ゆへ

31
梅中津伊ら守三層久也成と云
櫻千々々々

一日庚申
美師夫と云

九日辛酉
川島在しは海邊より物州所移し

十日壬戌
川島其力

十一日癸亥
川島國守金村氏所

十二日甲子
川島進日也其力

十三日乙丑
川島海州向方

十四日丙寅
川島城下池ま向方

十五日丁卯
川島城下池ま向方

十六日戊辰
川島城下池ま向方

十七日己巳
川島城下池ま向方

十八日庚午
川島城下池ま向方

十九日辛未
川島城下池ま向方

二十日壬申
川島城下池ま向方

一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上

一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上

一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上

一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上
 一 本の上

書目
分條
全訂
甲

廿二日甲申

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

廿二日甲申

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

廿二日甲申

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

書目
分條
全訂
甲

一 日おのり海向一 天の海向 羅漢

老日已卯

一 日おのり海向一

一 日おのり海向一

一 日おのり海向一

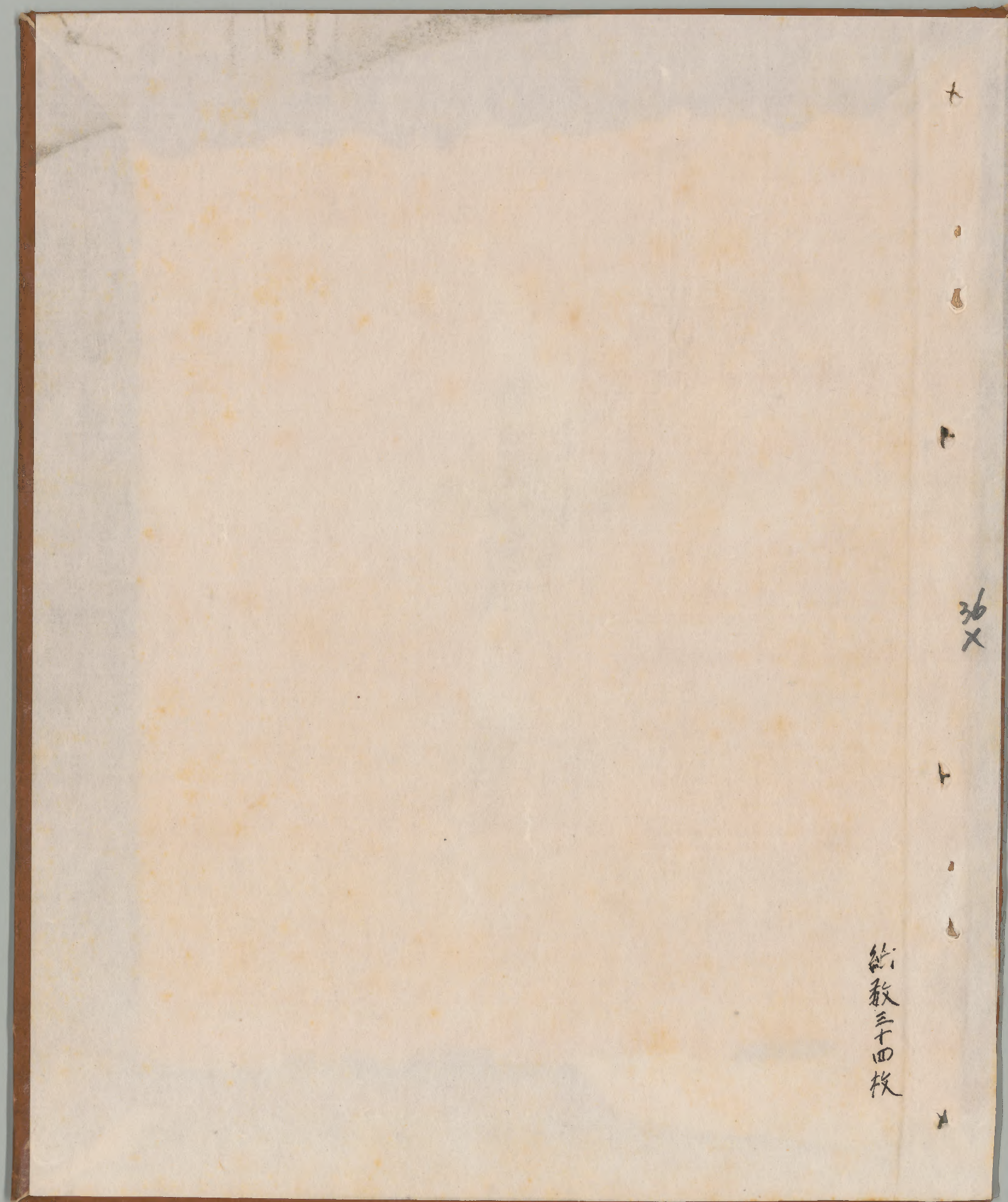
一 日おのり海向一

一 日おのり海向一

一 日おのり海向一

一 日おのり海向一

一 日おのり海向一



結
教
三
十
四
枚

36
X

